

評価シート

日時:2022年2月21日 9:30~12:00

場所:大森ルーテル幼稚園 礼拝堂

【評価者】

他園幼稚園園長 1名 幼稚園運営委員 1名 自園保護者 2名 自園園長 副園長 主任

【学校関係者評価】

学校関係者評価は、保護者、地域住民などにより構成された委員会等が、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価することを基本として行う。

1. 本園の教育目標

園紹介冊子参照

2. 本日の学校評価の進行 9:30-12:00

- ・園長挨拶
- ・委員紹介
- ・評価シート説明
- ・園内見学(評価シートを活用)。 20 - 30 10時に礼拝堂に集まってください。
- ・園の概要説明(副園長)
- ・資料提示し、評価委員の評価を受ける。

1. 評価項目への取組みと達成状況

高←低
評価:A B C

評価項目	取組内容	取組状況	評価
1. 保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> ・年間、月案の計画を立て、毎月保育の反省を行っている。 ・保育日誌の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度から保育日誌は個人で管理ではなく棚にまとめ誰でも確認できるようにする予定だったが実施できていない。実施できないのは実用的ではないか、他に原因があると考え再考する必要がある。 	B
2. 子どもの育ちの共有	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の月案・保育の反省 ・子どもの成長面、課題面を職員間で共有、援助。 ・カウンセラー、療育の先生と連携。 ・預かり保育の職員と、子どもの事を密に共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ改善しているが、預かり保育職員と子どもの情報共有に課題が残る。特に常勤職員が退勤した後から、翌日出勤するまでに起きた子ども関係の情報共有が課題。 	B
3. 保育のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの主体性を重んじ、子どもたちが自発的に遊びに取り組めるようにしている。 ・子どもの遊びがより豊かになるように室内の環境設定を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び方について危険だから禁止する、もったいないから禁止する等を行わないようにしている。先生が迷った際は、他の先生と共有し話し合うようにし、そのうえでどうするかを考えている。 	A
4. 保育者の努力・良識	<ul style="list-style-type: none"> ・答えを保育者が決めるのではなく、子どもの声を聴き、気持ちを汲み取り、寄り添う保育をしている。 ・守秘義務を果たしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを気持ちに寄り添う保育を常に目指し、実行している。 ・守秘義務契約をし、先生達にも周知している。 	A

5.保護者とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・毎降園後子どもの園での様子を保護者ひとり一人に伝える。 ・交流会、ヌーンサービスを通して、子育ての支援。 ・随時子育て相談のできる様に園長、副園長が毎朝門、園庭に立ち相談できる環境を整えている。 ・長時間預かり利用の保護者にも、通常保育で帰る子どもの保護者と同じ様に子どもの様子を伝えられるよう努力をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間預かりの保護者とのつながりが今年度も課題だった。玄関に写真付きのコメントボードを設置し、子どもたちがどんな遊びをしていたか、預かり利用の保護者にもわかるようにした。しかし、預かり利用の個人の子どもの様子等は保護者に伝えきれていないのが課題。アンケートでも浮き彫りになっている。 	B
6.地域の自然・社会との関り	<ul style="list-style-type: none"> ・行事を通して、地域社会と関わりを持つ。今年度もコロナの関係で代替案を考えその中で関りを持つようにした。 ・自然の物、生き物などを保育室などに展示し、いつでも子どもが触れられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様コロナで思うように行事が出来ない中、中止するのではなく、できる限りのことをし、子どもが少しでも楽しかったという思いができる様、代替案でも行事を実施した。 ・各教室季節の植物や、昆虫、生き物等を展示し子どもが興味を持ち、触れることが出来るようにした。 	A
7.研修への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修に積極的に参加。 ・内部研修の充実。 ・資格取得補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で動画やライブ配信での研修が主だが、定期的に研修を受けてもらっている。 ・全職員での内部研修を去年から始め、今年度も実施する。研修を通して、情報の共有、保育者の質の向上を目指し、登園が大切にしている教育を職員全員で実行できるようにする。 ・資格がない職員に対し、希望者には資格取得補助を行っている。 	A
8.園運営	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園運営委員会を年6回開催し、保育内容、園運営を共有している。 ・保護者役員会を毎月開き、保護者と意見交換をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・zoomでの委員会も含め、定期的に行うことができた。 	A
9.新型コロナウイルスへの対策	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策の徹底 ・感染者が出た際のスキームの作成 ・保護者へ情報の発信、共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き感染対策を徹底して行っている。手洗い、消毒、検温、換気、マスク着用等。 ・園独自の感染者が増えた場合の休園ルールの作成。 ・職員が感染した場合のスキームの作成 	A

2.昨年度の課題への取り組み

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間預かりを定期的に利用している保護者と、子どもの様子などの共有をどう解決していくか。 ・情報の発信の仕方など今後も工夫が必要

施設関係者評価委員の意見

・子育て交流会等に保護者に参加していただくために、参観日の日に開催するなどしてみたらどうか。

園回答：交流会に参加しやすい方法や、宣伝の仕方など手紙を配布して終了ではなく、今以上に参加してもらえるよう園として努力が必要に思う。

・現状1学期の保育参観は土曜に行い、保育の様子を全ての保護者に1日で参観してもらっているが、コロナ禍では難しく中止している。3学期の参観のように日数をいくつか設け行ってみてはどうか。

園回答：三学期は普段の遊びの姿、1学期は製作や、礼拝等の一斉活動を見てもらいたいと考えている。ただコロナでここ2年1学期の参観を実施できていないので、ライブ配信、録画配信をして、保護者が参観できるようにしていきたい。

・コロナ禍で様々な工夫と配慮をし、保育を続けてこられたことに敬意を表します。大森らしい伸び伸びとした保育は素敵です。

・ロッカーの上その日は使用しないであろう物が置いてあるが、使用しない物は片付け、保育環境を整えると良い。

園回答：日々の生活の中でおろそかになっている部分はあるかもしれない。これは職員に伝え大変な日々の中でも努力してもらうように指導していく。

・預かり保育を利用される方が増え、園に長時間いる子ども達を園としてどのように育ちに関わっていくのかはこれからの課題です。子どもと同じように働いている保護者も親として成長していける園でありたい。

園回答：預かりを利用している保護者の子ども個人の園での生活をどう担当が伝えるか。今後も課題であり、解決するために努力したい。

・子ども達の成長を感じることが出来ている。遊びひとつとっても上手に楽しく遊んでいる様子が見られた。

・してはいけないことや、入ってはいけない場所を子ども達が良く考え行動で来ているように感じた。

・小学校の先生に靴の履き方や、トイレの鍵の開け閉めができるか、トレーを自分で持てるか、配膳はできるか等質問された。小学校は就学に向けて幼稚園で出来るようになってほしい姿がある。

・タオルかけの距離が近く、タオルとタオルが触れ合ったり、自分のタオルを探すのに、他のタオルをかき分ける際に他の子のタオルに触れてしまうなど、不衛生に感じていた。

園回答：盲点だった。日々の生活で気にしたことがなかったが確かにと感じる。今後対応していくことが必要なので実行する。

・保護者同士が関われる期間は小学校以上になってからより、断然幼稚園時代の方が関りがもてる。幼稚園時代だけしかできない関りの多さの大切さを保護者に伝えていけると良い。

2.来年度の課題

・長時間預かりを定期的にご利用している保護者の子ども個人の園での生活を担当がどう伝えるか

・情報の発信の工夫

・保護者同士の交流の場の提供